

アジアにおける資源探査

Mineral exploration in Asia

日 時：平成24年7月2日（月）9:00～12:10

場 所：秋田大学鉱業博物館3階 講堂

※事前申込は不要です。聴講料も無料です。

Khin Zaw教授(タスマニア大学CODES)

「東南アジアのテクトニクスと金属生成区」

緒方武幸博士(秋田大学国際資源学教育研究センター)ほか

「モンゴル国南西部の塊状硫化物鉱床のポテンシャルについて」

Victor Maglambayan博士(フィリピン・フレックス社探査部長)ほか

「フィリピン国ベンゲット地域サント・トーマスII斑岩銅-金鉱体下位の後期金鉱化作用」

Zhaoshan Chang博士(ジェームズ・クック大学EGRU)ほか

「フィリピン国レパントFar Southeast (FSE) 鉱化システムにおける探査と高硫化型鉱化作用：資源探査および高硫化型鉱化作用の意義」

Johan Arif氏(ニューモント社探査部長)ほか

「インドネシア国バツ・ヒジャウ斑岩銅金鉱床：12年における採掘から得たもの」

Visut Pisutha-Arnond教授(チュラロンコン大学)

「タイ国西部カンチャナブリ・コランダム鉱床における貴石の産状とその成因」

